

## 第 3 回 S S H 国際交流講演会 “The journey of a legal empirical research”

令和 7 年 7 月 23 日 (水) 15:30~17:00 の時間において、本校視聴覚室にて第 3 回 S S H 国際交流講演会が実施され、1 年生 13 名、2 年生 45 名、3 年生 4 名が参加しました。今年度 3 回目の講演会の講師は東京大学法学部に所属する Penelope HARDY 先生で、タイトルは“The journey of a legal empirical research”でした。



今回の講演内容は、HARDY 先生が法学について学んできた経緯、フランス語や英語などいくつかの言語を学んだ経験、そしてご自身の専門である非正規労働者に対する社会保障のモデル化等に関するものでした。ベルギーは三つの地域圏と三つの言語共同体で構成された連邦国家であり立憲君主制のシステムを持つこと、またベルギーの首都であるブリュッセルは、欧州委員会、欧州議会、

欧州理事会などの EU の主要な機関が置かれており、EU の政治都市であることを教えて頂きました。

しかし、後半の法学に関する専門的な説明は難しく、事前学習をしていましたが全て英語による講演ということもあり、十分に内容を理解することはできませんでした。しかし講演終了後の質問コーナーでは、HARDY 先生が生徒の質問にとっても丁寧に、質問した生徒が納得するまで分かりやすい英語で答えてくださいました。全体を通してレベルの高い講演会ではありましたが、まだ知らない学問分野のお話を聞いたことで、私たち生徒の多くは英語力向上の必要性を肌で感じ取りました。

### Belgium

- Three languages
  - French
  - Dutch
  - German
- A federal state
  - Central Federal State
  - 3 Communities
  - 3 Regions
- A (Parliamentary) Monarchy
  - King Philippe
  - Bart De Wever (Prime Minister)



## 【参加者の感想】

国際的な仕事をする上で言語の壁は超えなければならないものだ改めて実感した。実際に、国境を越えて活躍していらっしゃる方のお話を聞くことができ、より英語への学習意欲が増した。(2年)

ネイティブの発音を聞き取ることが思ったより難しく、英単語の意味を瞬時に思い出すことができないなど英語学習における自分自身の課題が明確に表れたので、夏休み期間を活用してリスニング力と単語練習に力を入れて次回の講演会に生かしていきたい。(1年)

初めて英語圏ではない国の人々の講演を聞いて、すこしなまりのようなイントネーションの違いがあって聞き取ることが難しかった。(2年)

講師の先生がフランス語訛りの英語を話されていて、アメリカ・イギリスの英語に慣れている耳には少し聞き取りにくかったが、いい練習になった。今後はヨーロッパ各国の法律の特徴やそこから推測される国民性などについて自分の意見を深めていきたい。(3年)

英語がとても速く難しい単語も多く、理解することが大変だったが、質問をすると講師の先生が丁寧に答えてくれたので積極的に話すことを継続したいと思った。また、内容も初見の世界でとても面白かった。(2年)

## 【編集後記】

今回の講演を通してグローバルな分野に興味を持った生徒が多く、また英語力の向上など課題が見つけられ、とても実りのある時間でした。今後の講演に向けて、個々の力を高めていきたいです。また、次号のSRtimesも皆さんに興味を持ってもらえるよう分かりやすくまとめたいです。

### What is an empirical legal researcher?

